

令和6年度 建築設備工事東北ブロック会議

広報委員長

株式会社朝日工業社 東北支店

執行役員支店長 末永陽亮



一般社団法人日本電設工業協会東北支部ならびに一般社団法人日本空調衛生工事業協会東北支部と主要発注機関とによる「令和6年度 建築設備工事東北ブロック会議」が、令和6年12月4日（水）15時より仙台市の江陽グランドホテルに於いて開催されました。

官公庁側は東北地方整備局、東北防衛局の中央官庁関係者と青森、岩手、秋田、宮城、山形、福島 of 各県ならびに仙台市の自治体設備関係者、総勢20名のご出席をいただきました。民側は両協会の本部ならびに東北支部あわせて37名が参加しました。

式次第は次のとおりです。（敬称略）

1. 開 会

司会進行

一般社団法人 日本空調衛生工事業協会東北支部 事務局長 鍵 茂

2. 挨拶

民側代表

一般社団法人 日本電設工業協会 東北支部長 太田 良治

官公庁側代表

国土交通省 東北地方整備局 営繕部長 小澤 剛



小澤営繕部長



太田支部長

3. 協会本部からの挨拶

一般社団法人 日本電設工業協会

専務理事 上野 賢一

一般社団法人 日本空調衛生工事業協会

常務理事 関本 昌弘



上野専務理事



関本常務理事

4. 意見交換事項

官公庁側座長 国土交通省 東北地方整備局 営繕部 設備技術対策官 斉藤 隆一
民側座長 一般社団法人 日本空調衛生工事業協会 東北支部長 小林 照和

- (1) 分離発注について
- (2) 働き方改革について
 - 1) 時間外労働の上限規制について（4週8閉所）
 - 2) 適正な工期設定（工期設定の改善点、概成工期）
 - 3) 適正な予定価格の設定（資材単価の高騰対策、スライド条項）
- (3) 生産性の向上について
 - 1) BIMの活用
 - 2) 設計精度の向上（設計変更対応）
 - 3) ワンデーレスポンス、遠隔臨場及び情報共有システムの活用
- (4) カーボンニュートラルについて
- (5) その他（不調不落対策）



官公庁側座長 斉藤対策官



民側座長 小林支部長



5. 技術情報の発表

テーマ「福島県立テクノアカデミー浜への再エネ等設備導入」

発表者 株式会社ユアテック ソリューション営業部 副部長 松本 利文



松本副部長

6. 閉会の挨拶

一般社団法人 日本空調衛生工事業協会 東北支部長 小林 照和



小林支部長

会議は日本空調衛生工事業協会東北支部 鍵事務局長の司会により進行されました。

はじめに民側の日本電設工業協会 太田支部長は、電設協・日空衛の本部が昨年引き続き建設業 3 団体に対して行った適正な工期の確保、長時間労働の是正や対等な契約関係の遵守に関する共同要請について紹介しながら「建設業労働者の処遇改善や将来の担い手となる若手に魅力ある業界とするためには新 4K の達成が重要な課題だ。様々な取り組みを進めているが業界の自助努力だけでは課題解決は難しい」として官側による民間発注者や元請建設業者に対する指導を求めました。

続いて官側を代表して国土交通省東北地方整備局 小澤宮繕部長は「この会議は官民一同に会して意見交換する貴重な機会である。忌憚のない意見交換をしたい」と述べられたうえで、意見交換のテーマである働き方改革・生産性向上、価格高騰対策およびカーボンニュートラルに対する国土交通省の取組状況を紹介されました。また、「不調・不落対策を講じるための実績を示すためにも積極的に入札へ参加してほしい」と求められました。

次に、日本電設工業協会 上野専務理事からは建設業 3 団体に対する電設協・日空衛の共同要請と 7 つの公共発注機関に対する訪問懇談、日本空調衛生工事業協会 関本常務理事からは日空衛の新たな中期ビジョン「日空衛 2025」の紹介など、各協会本部における働き方改革やカーボンニュートラルへの取り組み状況などを含めたご挨拶をいただきました。

その後、協会側が提示した意見交換事項に対し、ご出席の東北地方整備局、東北防衛局、各県、仙台市のご担当者様からご回答を頂く形式で進行して、質疑回答を含めて意見交換を行いました。意見交換内容の詳細につきましては、後日各会員宛に送付される議事録でご確認ください。

技術情報の発表では、株式会社ユアテック松本副部長から「福島県立テクノアカデミー浜への再エネ等設備導入」をテーマに、多種の再生可能エネルギー設備を最適に運転するための制御についての紹介がありました。太陽光、風力、燃料電池、蓄電池を組合せる際の運転フローを最適化させ再エネ自給率を向上させるという、今後のカーボンニュートラル達成に向けて有効な技術の紹介でした。

最後に日本空調衛生工事業協会 小林支部長から、会議参加へのお礼に続き「本日の議題は例年に近いものであり問題解決が難しいことを表している。受注者と発注者それぞれの考え方はあるが建設業の発展という同じベクトルに向けて解決を図らなければならない。官側の皆様にはなお一層の力添えを賜りたい」と閉会の挨拶があり会議は終了しました。

会議終了後、懇親会が開催され会議参加者が懇親を深めました。

以上

「官公庁ご出席者名」(敬称略・順不同)

東北地方整備局	小澤 剛	営繕部長
東北地方整備局	松村 達夫	営繕部 営繕品質管理官
東北地方整備局	斉藤 隆一	営繕部 設備技術対策官
東北地方整備局	加藤 政昭	営繕部 整備課 課長補佐
東北地方整備局	堀 正之	営繕部 整備課 課長補佐
東北地方整備局	堀口 和希	企画部 情報通信技術課長
東北地方整備局	佐藤 祥悦	企画部 情報通信技術課 建設専門官
東北地方整備局	渡邊 文勝	建政部 建設産業調整官
東北地方整備局	岩井 和俊	建政部 建設産業課 建設専門官
東北防衛局	曾根 一寿	調達部 設備課長
東北防衛局	岡野 高広	調達部 設備課 課長補佐
東北防衛局	穴戸 達也	調達部 設備課 課長補佐
青森県	内村 伸一郎	財務部 財産管理課 営繕整備グループ 総括主幹
岩手県	高野 兼	県土整備部 建築住宅課 主任主査
秋田県	細川 秀樹	建設部 営繕課 設備チーム チームリーダー
宮城県	荒 宏幸	土木部 設備課 課長
宮城県	高橋 安弘	土木部 設備課 機械設備班 技術補佐(班長)
山形県	井上 裕之	県土整備部 建築住宅課営繕室 室長補佐(設備技術担当)
福島県	野崎 伸吾	土木部 営繕課 主幹
仙台市	芳賀 和則	都市整備局 公共建築住宅部 設備課 課長

以上 20 名